

日立システムズ「希望の響き」シリーズ

仙台フィル

チャイコフスキー

P e t e r I l y i c h T c h a i k o v s k y S T O R Y

物語

東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート

[演奏曲]

バレエ音楽「白鳥の湖」から「情景」「ワルツ」「フィナーレ」

ソロ・ヴァイオリンとオーケストラのための「憂鬱なセレナード」

交響曲第4番 第4楽章

イタリア奇想曲

交響曲第6番「悲愴」第4楽章

序曲「1812年」(合唱付き)

曲名・曲順は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ガラスの心が生み出す「美旋律」
チャイコフスキーの知られざる生涯の物語とともに



©Naoya_Yamaguchi

[指揮]

下野竜也



©武藤章

[ヴァイオリンソロ]

米元響子

[演奏]

仙台フィルハーモニー管弦楽団

[合唱]

仙台放送合唱団

[吹奏楽]

東北福祉大学吹奏楽部

〈お話〉村上満志(仙台フィルハーモニー管弦楽団)



2014年11月14日(金) 開場/18:30 開演/19:00

日立システムズホール仙台 コンサートホール(仙台市青年文化センター)

仙台市営地下鉄旭ヶ丘駅 東1番出口より徒歩3分

全席指定(税込) S席 4,000円 A席 3,000円 *未就学児の入場はご遠慮ください。

【主催】◎株式会社 日立システムズ TBC東北放送

【共催】日立システムズホール仙台(公益財団法人仙台市市民文化事業団) 【後援】仙台市、河北新報社

【問い合わせ】TBC 事業部 TEL.022-227-2715(平日9:30~17:30)

【プレイガイド】

藤崎、仙台三越、日立システムズホール仙台 1F窓口
イズミティ21、イープラス <http://eplus.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 242-186)

ローソンチケット 0570-084-002(Lコード 28847)

TBC事業部(通信販売)

【チケット発売日】2014年9月5日(金) 10:00~

◎収益の一部は震災復興のために寄付されます。

ガラス細工のように繊細な心を持ち、それ故に人一倍苦悩に満ちた人生を送ったチャイコフスキー。

音楽の中心地ヨーロッパへの憧れを抱きつつも、ロシアの民謡を取り入れ、

豊かな感受性と傷つきやすい繊細な心で

尽きることなく多くの「美しいメロディー」を生み出しました。

その素顔を、一つ一つの音楽と併せてお話しします。

代表作、バレエ音楽「白鳥の湖」、充実した時代を物語る「イタリア奇想曲」、

そして死のわずか10日前に初演された最後の交響曲「悲愴」。

ロシア音楽のロマンを雄弁に物語るチャイコフスキーの音楽を心ゆくまでご堪能ください。



©Naoya_Yamaguchi

指揮 | 下野 竜也

SHIMONO Tatsuya

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、アメリカのシリコンバレー交響楽団など海外のオーケストラにも次々と客演を重ねている。

2006年に読売日本交響楽団の初代正指揮者に迎えられ2013年4月からは首席客演指揮者。

2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。

吹奏楽の演奏にも定評があり、2011年から、広島ウインドオーケストラ音楽監督。

上野学園大学音楽学部教授として、後進の指導にも情熱を注いでいる。



©武藤章

ヴァイオリン | 米元 響子

YONEMOTO Kyoko

1997年パガニーニ・コンクール(イタリア)において、史上最年少13歳で入賞。その後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ・コンクールで優勝を飾る。2008年には、最も将来性のある若手音楽家に与えられる「出光音楽賞」を受賞した。国内外のオーケストラと多数共演しており、これまでに、チョン・ミュンフン、ユーリ・バシュメット、エリアフ・インバル、ロベルト・ベンツィ、ハンス=マルティン・シュナイト、セルゲイ・シュタドラー、小林研一郎、広上淳一、パスカール・ヴェロら著名指揮者との共演を果たしている。リサイタルや室内楽の公演でも、ヨーロッパ・日本を中心に活躍している。

2012年からマーストリヒト音楽院(オランダ)にて教授として後進の指導にあたっている。ベルギー在住。



演奏 | 仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973年創立。日立システムズホール仙台での定期演奏会(年間9回18公演)をはじめ、東日本エリアを中心に年間約110公演に及ぶ演奏活動を展開。仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルへの出演など、本拠地である仙台の音楽文化の振興にも大きく貢献している。大震災後は、音楽を被災者のもとに届けながら絆を紡ぐ活動も展開し、2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞した。2013年3月には(独行)国際交流基金の依頼によりロシアで被災地の代表として演奏し、震災後に世界から寄せられた支援への感謝の気持ちと、復興に向かう被災地を音楽の力で支え続ける楽団の姿を伝え、その大役を果たした。常任指揮者にパスカール・ヴェロ、首席客演指揮者に小泉和裕、ミュージック・パートナーに山田和樹が就任している。



合唱 | 仙台放送合唱団

1943年、NHKの放送を主たる活動として発足。その後、一般合唱団として再編成。1999年、平成10年度宮城県芸術選奨を受賞(合唱団体としては初)。2013年、創立70周年記念定期演奏会「J.S.Bachヨハネ受難曲」を開催。現在団員数は約50名。常任指揮者は佐藤淳一氏。



吹奏楽 | 東北福祉大学吹奏楽部

1978年に金管アンサンブルより改組発足。1995年からは仙台フィルハーモニー管弦楽団トロンボーン奏者の松崎泰賢を音楽監督として迎え活動。2000年には全日本吹奏楽コンクール全国大会初出場。2003年~2005年、2007年~2009年の間に3年連続全国大会出場を果たす。